

平成 20 年 5 月 15 日

特別講演会開催のお知らせ

流体科学研究所では、二見常夫客員教授をお招きし、特別講演会を開催いたします。

東京電力株式会社において長年、原子力発電設備の運営と管理に携っていらっしやった二見客員教授より原子力発電設備における流体科学に係るトラブル事例等について3回にわたりご講演いただきます。

第1回目の講演会が下記のとおり、平成20年5月20日 14:50～16:10に開催されます。

ご関心をお持ちの方は、ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

講師： 二見常夫（東北大学流体科学研究所・客員教授）

場所： 東北大学流体科学研究所 1号館 2階講義室

概要および日時・演題

原子力発電と原子燃料サイクルおよび原子力を取り巻く最近の状況を概説する。

また、これ迄のトラブルの中から流体科学に係わる代表的な事例を紹介し、流体科学の重要性を示す。

第1回（平成20年5月20日 14:50～16:10）

- ・軽水炉技術の概要
- ・流体科学に係るトラブル事例（ラサールの炉出力振動、サリーの蒸気配管
- ・破断事故、美浜蒸気発生器細管破断事故、美浜3号機の蒸気配管破断事故、福島第二3号機のポンプ破損事故）

第2回（平成20年6月17日 14:50～16:10）

- ・原子力発電に係る代表的事故と教訓（TMI事故、チェルノブイル事故、JCO臨界事故）
- ・中越沖地震の影響と教訓
- ・原子燃料サイクル技術の概要（六ヶ所再処理、高レベル・TRU廃棄物処分）

第3回（平成20年7月15日 14:50～16:10）

- ・新型軽水炉技術の概要
- ・高速炉技術の概要
- ・流体科学に係るトラブル事例（もんじゅのナトリウム漏洩事故、エンリコフェルミ炉の炉心溶融事故）
- ・原子力発電と社会（原子力の不祥事（2002年に明らかにされたトラブル隠し、2006年に明らかにされたトラブル隠し）と地域や社会の合意形成（住民投票、PI））
- ・日本の原子力のこれから（原子力立国、原子力産業界の合従連衡）

連絡先： 流体科学研究所

高木 敏行

TEL 022-217-5248

Email: takagi@ifs.tohoku.ac.jp